

平成 27 年 11 月 13 日

浜田市議会議長 西田 清久 様

議員名 布施 賢司



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成 27 年 10 月 28 日 (水) ~ 10 月 30 日 (金)

2. 視察先及び研修テーマ

(1) 新潟県糸魚川市 糸魚川市役所
研修テーマ 「知音都市交流の取組み」について

(2) 長野県中野市 中野市役所
研修テーマ 「知音都市交流取組み」について

3. 参加者 足立 豪 岡野克俊 野藤 薫 上野 茂
布施賢司 岡本正友 道下文男 田畑敬二
平石 誠 西田清久 澁谷幹雄 牛尾博美
原田義則 計 13 名

4. 調査経費 ¥66,546 円
(内訳) バス代 43,846 円
宿泊費 22,400 円
入館料 300 円



5. 調査研究活動の概要

(1) 新潟県糸魚川市、長野県中野市

<視察に至った経緯>

浜田市（旧金城町）、新潟県糸魚川市、長野県中野市、長野県長野市の4市は、「カチューシャの唄」知音都市交流として交流を続けている。なぜこの4市が交流を始めたのかといえ、日本の新劇運動の先駆けの一人として知られる、島村抱月が浜田市（旧金城町）出身であったことから始まる。島村抱月は、1913年劇団・芸術座を結成し、トルストイの小説を基にした新劇「復活」の舞台が好評で全国各地で興行が行われた。その劇中歌「カチューシャの唄」は大ヒットとなり、日本初の歌謡曲として知られているところである。

その「カチューシャの唄」を歌ったのが、長野市出身の「松井須磨子」であり、その唄を作詞したのが「島村抱月」と新潟県糸魚川市出身の「相馬御風」であり、作曲は長野県中野市出身の「中山晋平」ということで、この4人の出身地が「カチューシャの唄」をご縁に都市交流を始めたということである。

そこで、市町村合併10周年を期に、交流をしている都市を訪問し、これまでの活動内容等の情報収集を実施し、今後の活動に関しての意見交換ができればとの思いで、今回の視察を計画したところである。

<視察内容>

○ 知音都市交流の歩み

年 月	内 容
平成元年 6月	(社)活性活性かなぎが「カチューシャの唄」知音都市交流を提唱
平成2年 6月	長野市(市議会・行政関係者)が金城町を訪問
7月	波佐文化協会等(金城町)が糸魚川市、中野市、長野市を訪問
8月	第1回実務担当者会議を開催(会場/長野市)
9月	三浦金城町長が糸魚川市、中野市、長野市を表敬訪問
11月	金城町訪問団が「真田まつり」(長野市)に参加し、中野市、糸魚川市を訪問 長野市訪問団が「さざんか祭り」(金城町)を訪れ「抱月生誕120年特別展」等を見学
平成3年 8月	第2回実務担当者会議を開催(会場/金城町)
9月	金城町訪問団が「真田まつり」(長野市)に参加
10月	知音都市広報担当者会議を開催
11月	中野市訪問団が「さざんか祭り」(金城町)に参加 金城町訪問団が長野市、中野市を訪問し神楽を公演
平成4年 3月	糸魚川青年会議所会員が「役場を舞台とした演劇公演」(金城町)を見学
5月	第3回実務者・広報担当者等会議として拡充し開催(会場/糸魚川市)
6月	『カチューシャの唄』知音都市ながの市民の会設立(長野市)
9月	金城町訪問団が「真田まつり」(長野市)に参加、中野市を訪問
10月	金城町訪問団が糸魚川市本町通り商店街で芸能交流 ながの市民の会が「さざんか祭り」(金城町)に参加 金城町が「えびす祭り」(長野市松代町)で芸能交流
平成5年 4月	『カチューシャの唄』知音都市交流かなぎララ会設立(金城町)
6月	金城町議会が中野市農業を視察

	7月	第4回実務者・広報担当者等会議を開催(会場／中野市)
	9月	金城町から「真田まつり」(長野市)に参加
	10月	金城町が中野ライオンズクラブ 30周年記念事業で神楽上演
平成6年	5月	第5回実務者・広報担当者等会議を開催(会場／長野市)
	6月	糸魚川市と長野市が「神楽にほーける 30時間」(金城町)に参加
	9月	「カチューシャの唄」知音都市交流 5周年記念事業を開催(会場／長野市)
	11月	金城町から中野市制 40周年事業と「中野ふるさと祭り」に参加
平成7年	5月	相馬御風ふるさと記念切手発行(糸魚川市)
	6月	第6回実務者・広報担当者等会議を開催(会場／金城町)
	9月	「知音都市交流」共同パンフレット作成(15万部)
	11月	「金城ふるさと体験フェスティバル」(金城町)に長野市・糸魚川市・信州市民劇団が参加 金城町「サウンドファイブ夢の音会」が糸魚川市を訪問
平成8年	4月	金城町から中野市「ポンポコの湯」3周年記念事業で訪問(神楽上演)
	4月	糸魚川青年会議所が青年交流で金城町を訪問(金城町)
	9月	金城町から「真田まつり」(長野市)に参加
	11月	長野市松代町商工会議所が「さざんか祭り」(金城町)に参加
平成9年	5月	中野市市民交流訪問団が金城町を訪問
	7月	第7回実務者・広報担当者等会議を開催(会場／糸魚川市)
	9月	金城町から「真田まつり」(長野市)に参加
	10月	長野市制 100周年記念事業(長野市)の友好関係都市物産展に参加
	11月	「さざんか祭り」(金城町)で「知音都市交流展」を開催
平成10年	3月	「中野市市民都市交流会フレンズ」設立(中野市)
	4月	金城町青年訪問団が長野市・中野市・糸魚川市を訪問
	7月	第8回実務者・広報担当者等会議を開催(会場／中野市)
	9月	金城町から「真田まつり」(長野市)に参加
	11月	「『カチューシャの唄』知音都市交流展」を開催(森の公民館)
平成11年	7月	第9回実務者・広報担当者等会議を開催(会場／長野市)
	9月	「カチューシャの唄」知音都市交流 10周年記念事業を開催(会場／中野市)
	10月	金城町から「真田まつり」に参加、前夜祭「大正ロマン行列」参加
平成12年	5月	相馬御風没後 50年記念式典参加(糸魚川市) 「『カチューシャの唄』知音都市交流糸魚川市民の会」設立(糸魚川市)
	7月	第10回実務者・広報担当者等会議を開催(会場／金城町)
	10月	金城町が「真田まつり」(長野市)に参加 「たべごろ信州中野フェスタ」(中野市)に参加
平成13年	2月	金城町から交流環境調査事業として、長野市・中野市・糸魚川市を訪問
	7月	第11回実務者・広報担当者等会議を開催(会場／糸魚川市)
	10月	金城町が「真田まつり」(長野市)に参加
	11月	金城町「サウンドファイブ夢の音会」が糸魚川市を訪問
平成14年	5月	小国抱月生誕地顕彰の杜公園(金城町)完成式(知音都市から記念植樹)
	7月	第12回実務者・広報担当者等会議を開催(会場／中野市)
	10月	金城町が「真田まつり」(長野市)に参加 「たべごろ信州中野フェスタ」(中野市)に参加
	11月	糸魚川市・中野市合同訪問団が金城町を訪問
平成15年	7月	第13回実務者・広報担当者等会議を開催(会場／長野市) 金城町議会経済委員会が中野市農業を視察

	10月	「たべごろ信州中野フェスタ 2003」(中野市)に参加 金城町から「真田十万石まつり」(長野市)に参加 糸魚川市議会産業厚生委員会が金城町を視察
	11月	中野市交流訪問団が糸魚川市を訪問
	12月	『カチューシャの唄』知音都市交流かなぎララ会」設立 10 周年記念行事開催
平成 16 年	4月	「松代城復元記念春まつり」(長野市)に参加
	5月	東京雑司ヶ谷霊園から抱月の遺骨が金城町に里帰り(納骨式参列)
	6月	第 14 回実務者・広報担当者等会議を開催(会場/金城町)
	8月	知音都市交流 15 周年記念事業開催(会場/糸魚川市)
	10月	「真田十万石まつり」(長野市)に参加
平成 17 年	7月	第 15 回実務者・広報担当者等会議を開催(会場/糸魚川市)
	10月	浜田市から「真田十万石まつり」に参加
平成 18 年	1月	「知音都市交流にかかわる事務担当者会議」開催(会場/中野市)
	7月	第 16 回実務者・広報担当者等会議を開催(会場/中野市)
	10月	「真田十万石まつり」に参加(時代行列に知音都市一行として初参列)
	11月	中野市・糸魚川市市民団、中野市長が浜田市を訪問
平成 19 年	6月	第 17 回実務者・広報担当者等会議を開催(会場/長野市)
	10月	「真田十万石まつり」(長野市)に参加、宇津浜田市長が出陣式に参列
平成 20 年	7月	第 18 回実務者・広報担当者等会議を開催(会場/糸魚川市) 糸魚川市議会 5 名が浜田市を視察(知音都市交流について意見交換)
	10月	「真田十万石まつり」(長野市)に参加
平成 21 年	7月	知音都市交流 20 周年記念事業開催(会場/浜田市) 第 19 回実務者・広報担当者等会議を開催(会場/浜田市)
	10月	知音都市交流シンボルマーク決定 「真田十万石まつり」(長野市)に参加
平成 22 年	7月	第 20 回実務者・広報担当者等会議を開催(会場/中野市)
	10月	「真田十万石まつり」(長野市)に参加
平成 23 年	7月	第 21 回実務者・広報担当者等会議を開催(会場/長野市) ※各都市に「 情報通信員 」設置
	10月	「真田十万石まつり」(長野市)に参加
平成 24 年	7月	第 22 回実務者・広報担当者等会議を開催(会場/浜田市) ※「 知音都市交流ブログ 」運用開始
	10月	「真田十万石まつり」(長野市)に参加
平成 25 年	5月	設立 20 周年を記念し、「カチューシャの唄」知音都市交流はまだ市民ララ会」に名称変更
	7月	第 23 回実務者・広報担当者等会議を開催(会場/糸魚川市)
	9月	『カチューシャの唄』知音都市交流かなぎララ会」設立 20 周年記念事業開催
平成 26 年	7月	知音都市交流 25 周年記念事業開催(会場/長野市) 第 24 回実務者・広報担当者等会議を開催(会場/長野市)
	10月	「真田十万石まつり」(長野市)に参加
平成 27 年	7月	第 25 回実務者・広報担当者等会議を開催(会場/中野市)
	10月	「真田十万石まつり」(長野市)に参加

◆平成 17 年
1月 長野市に旧 4 町村
編入合併
3月 新「糸魚川市」誕生
4月 新「中野市」誕生
10月 新「浜田市」誕生

平成 2 年から毎年実務者・広報担当者会議を開催し、開催場所は 4 都市の持ち回りとしている。

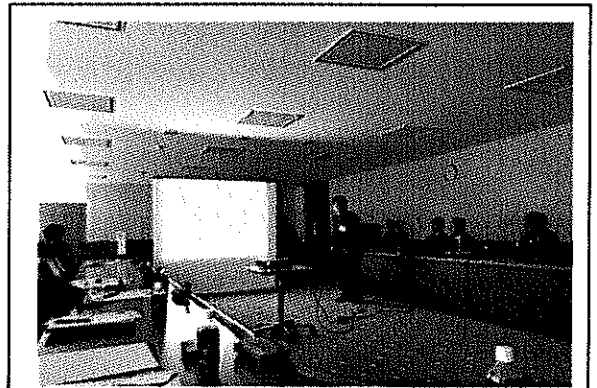
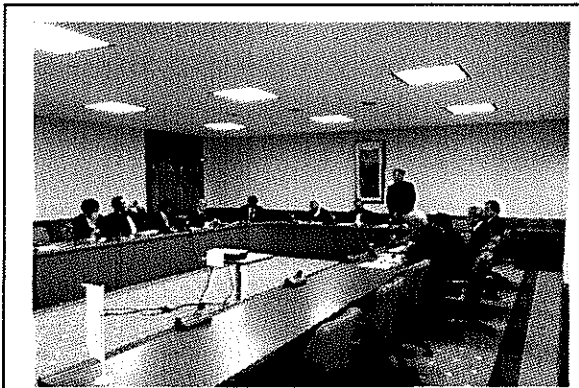
毎年 10 月に開催される、「真田十万石まつり」において、4 年周期で大名行列に

参加し、各都市はそれをサポートしている。まつり終了後は、4都市で交流会を実施し、その場には、真田家当主も毎回参加されている。

【糸魚川市の取組】

知音都市交流において、平成2年に4都市の実務・広報担当者会議を皮切りにそれぞれの交流が活発化した。平成4年には青年会議所が浜田市（旧金城町）を訪問し演劇を見学するなど交流を深められた。平成12年5月には「カチューシャの唄」知音都市交流市民の会が設立され、市民の中にも交流の輪が広がった。特に、中野市や長野市とは距離が近いこともあり、それぞれの都市で開催される、祭やイベント等に参加している。

都市交流のきっかけとなった、相馬御風については、市役所に隣接した場所に「歴史民俗資料館(相馬御風記念館)」を開館しており、御風の蔵書や資料を多く展示し市民や観光客に紹介している。



【中野市の取組】

中野市においては、平成10年3月「中野市市民都市交流会フレンズ」が設立され、交流の中心となっている。この会の活動として、

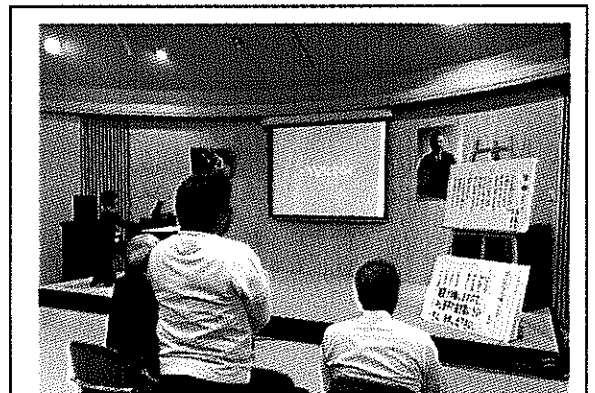
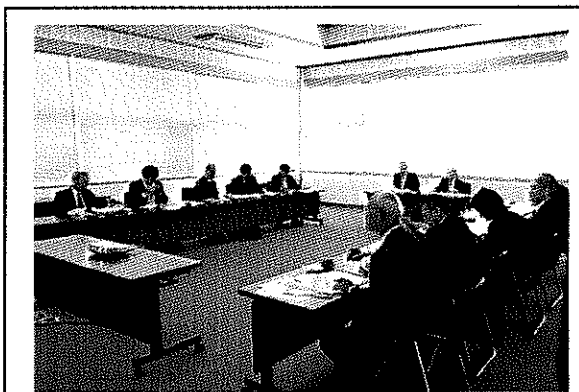
- ・カチューシャの唄の関する先人の研究
- ・4都市交流の計画、地域活性化の研究
- ・交流情報の受発信と広報
- ・4都市交流団体としての事業実施
- ・会員相互の友好連携 が挙げられる。

現在、特に力を入れていることは、

- ・組織育成事業(会員拡大)
- ・4都市市民交流のための情報発信のためのホームページやブログの開設と運用
- ・先人を知る学習活動 ということである。

今後の活動の方向性として、交流4都市の情報発信や、各都市の活性化や町づくり推進への寄与としている。

都市交流のきっかけとなった、中山晋平については、晋平の生家近くに中山晋平記念館が開館しており、館内には、生前の写真や作品集が展示されている。また、彼の作品が視聴できるコーナーやビデオコーナーも設けられており、より親しみやすくなっていた。



《感想》

正直言って、島村抱月で4市知音都市交流がされている情報は、金城町出身議員より聞いていた程度で、知音の意味（親友、友達、昔から心の通じ合った仲間。）やララ会のララ（カチューシャの唄の中にララが使われている）も知らない程度でした。私自身「カチューシャの唄」知音都市交流、はまだ市民ララ会の4市交流事業が活発に行われていることを深く知ったのは、昨年（H26年）10月に知音都市交流推進事業でララ会より浜田市産業建設委員長に、6代藩主「真田幸弘」役として、松代藩真田十万石まつりに参加要請があり、馬上より大名行列に参加した事が始まりです。当日、放送で関係が紹介されると長野市松代町民の熱烈な歓迎や声援を受けた事を覚えています。その時、都市間交流が市民レベルまでしっかり情報発信されているなと思いました。その活動に賛同し「はまだ市民ララ会」に入会致しております。また、今年2月に石央文化ホールで上演された市民参加型創作ミュージカル「島村抱月～夢・ふるさと・ドラマ～」を鑑賞することで、故郷の偉人である抱月の人生が描かれていて、生まれ育った「ふるさと」浜田（金城）があって、芸術座の設立に始まって、劇中歌の「カチューシャの唄」で繋がっていることが全ての始まりであり、その一つのご縁で4名（4市）が繋がっていた事がよく分かったミュージカルでした。今回その縁をたどるべく会派視察致しましたが、対応して下さった行政の方や関係者の皆さんの「おもてなし」に感謝申し上げます。市民交流活動や情報交流等を通じて地域の活性化を図る取組は素晴らしく、地域間交流の見本であると思います。更に発展していくためには、会員拡大（はまだ現会員数151名）と、地域製品の紹介と販売をもっと大々的に取り扱い、産品を通じての情報発信も必要であると感じました。また、知らなかった情報として松代藩主、真田信弘の六男が本多家に養子縁組で家督を継ぎ、浜田藩主（8代）の本多忠盈だったことを教えてもらいました。開府400年をこの先迎える浜田市として、私は知らなかった発見であり是非ともこの縁も大事にしていきたいと長野商工会議所の芳川様（松代支部長）に伝えておきました。

